

(職員向け)放課後等デイサービスにおける自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 チャイルドウッシュ三河安城

		チェック項目	はい	よくわからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		1	集団活動が行えるように視覚のない指導員の目が行き届く、一つの空間をしようしている。	十分な広さを確保し、ほぼ視覚がなく職員の間が行き届きやすい空間を使用しています。
	2	職員の配置数は適切である	7		1	人員配置基準は満たされている。児童指導員加配加算を算定できる人員配置をしている。	人員基準を満たしており、加配人員も満たしています。ケガの無いよう質の向上に努めていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		2	目が行き届きやすい一つの空間を使用しており必要に応じて見守りを行っている。	入口外側に一段、段差がありますが転倒しないように必要な児童には声掛け寄り添いなど躓かないように工夫しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		2	活動前後で職員ミーティングを行っている。	PDCAサイクルに心がけ活動前後で職員間のミーティングを継続して行い目標設定を振り返り業務改善に努めています。新人職員にはPDCAサイクルを説明し様々な意見や質問が出るように工夫していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		0		面接やアンケート等実施し保護者からの意向を把握し業務改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		0		面接やアンケート等実施し保護者からの意向を把握し業務改善につなげていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		3		必要があれば実施を検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		0	本部研修を定期的に参加している。	本部配属の研修が毎月、行われており積極的に参加しています。機会があれば外部研修にも参加していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		0		保護者と面談し保護者から頂いた情報を受けて計画を作成しています。ニーズに直ぐ対応出来ない事もあるので必要に応じて見直していきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		0		本部が作成したアセスメントを使用していますが、個別支援計画書に反映させるため、より充実させた内容でアセスメントがとれるように検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		0	チームで立案し利用児童のご利用に合わせて偏らないようにしている。	基本的には利用されている児童が安定し楽しめる活動に取り組めるように工夫しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		0	季節や子どもの状態に応じたプログラムになるように工夫している。	児童の特性によって内容を変化させたり、季節の活動を取り入れたり固定しない為のプログラム立案に努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		0	日頃から課題や目標を設定している。	今後も目標や課題をきめ細かく設定したい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		0	個人活動が主体だが、子どもの発達に合わせて必要があれば集団活動も組み合わせている。	個別の課題、集団の中での課題を踏まえて支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		0	休日等難しい時は個々で確認している。	毎朝、打合せを行い情報共有を行っています。一人ひとりの発達状況に応じて個別の課題と集団適応や社会性や健康面の課題を適宜、取り入れられるように工夫しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		1	翌日行っている。	支援終了後、勤務時間の観点から個人での振り返りが主体となります。本人や保護者の様子などは各職員間で情報共有し問題解決に向けて話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	0		検証、改善につなげるよう、毎回支援記録を残しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		0	概ね6ヶ月に1回見直しを行っている。	概ね6ヶ月に1回見直しが行える内容にしていますが必要があれば早期で保護者と面談し見直ししていきます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7		1		PDCAサイクルに心がけ活動前後で職員間のミーティングを継続して行い目標設定を振り返り基本活動を複数組み合わせられ、きめ細やかな内容で支援が行えるよう工夫していきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		0		今現在は児童発達支援管理責任者が参加していますが、今後は他の職員も参画できるように指導していきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		0		下校時間の確認と受け渡し方法、対応については、基本、学校に伺い対面で調整しています。行事予定も学校によっては頂けているため、行事予定でも送迎時間等、確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		2		医療的ケアの必要な児童の受け入れれないが、緊急時の対応でかかりつけ医または救急搬送先は契約時に伺い職員間で共有できるよう工夫していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	0		保育園や幼稚園、児童発達支援事業所から就学に切り替わる際に担当者会議等を各関係機関と行い情報共有と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	1		まだ移行する児童がいない。 他事業所と情報提供できるように強化したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	0		機会があれば検討したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1	1		児童館で交流する機会がある。 夏休みなどの長期休暇には事前に児童館に連絡し障害のない子と関われる時間を作っています。障害の特性からトラブルが起きないように支援者が間に入り工夫しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8		0		管理者が定期的に参加している。 毎月、管理者が参加しています。機会があれば他職員も参加させていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		0		特に課題解決につながる、発達の気づきについては小さいことでも伝えて、発達の喜びを共有するよう心掛けている。 送迎時や面談時に日頃の状況についてお話をさせて頂いています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	1	2		毎年、ペアレントプログラムとしては行っていませんが子供の行動に関する保護者の皆様の不安に対して、行動の理解や対応方法などの助言を行うよう相談の体制を整えていきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		0		わからないことがあれば時間をかけて説明している。 契約時にわかりやすく説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		0		日々の保護者の会話や面談の中で適宜、助言を行っている。 送迎時にお伝えさせて頂いています。子供の発達の状況や課題については職員みんなで共有しフィードバックしていきます。保護者様への伝え方については社内ですぐマナーの研修を行いスキルアップしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	4		コロナ自粛などでできていない。 コロナ感染、インフルエンザ感染状況を鑑みながら定期的に開催できるよう努めさせていただきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		0		対応の体制を整備し、迅速かつ適切に対応できるように継続的に努めていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		0		HUG、インスタ、チャイルド通信 ハグやインスタ、チャイルド通信で活動の概要や行事予定を発信しています。肖像権の同意書もいただいておりますが掲載を望まない方も見えるため慎重に検討させていただきます。
	35	個人情報に十分注意している	8		0		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。 個人情報は慎重に取り扱っています。連絡帳の入れ間違えなど起きないように2人で確認するなど工夫していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		0		表情の変化を通して楽しさ、驚き、緊張など子供たちの様子がよくわかるように写真を多く活用し活動での取り組みなど保護者に伝わるように工夫していきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		5		地域住民の方などボランティアに依頼し地域交流が図れるよう努めたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		0	各種マニュアルは策定しているが、保護者に周知できていないため早急に周知できるように努めていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		0	災害時の訓練だけでなく、車内に閉じ込められた際の訓練も行っている。 必要な訓練以外にも子供の特性に行えるように工夫します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		0	虐待チェックリストを作り毎年定期的実施し、その結果をもとに課題を整理し研修の機会を作れるように工夫していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		0	身体拘束のマニュアルに沿って、切迫性、非代替性、一時性の要件等を契約時に説明していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		1	保護者からの情報のもと対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		0	事故につながる前の予測となる為、小さなことでも職員間で共有し再発防止に努めたい。